

WIND O W

国際ふれあい広場2018の風景



▲JI Café ブースにて



▲カボエイラ



▲フェアトレード品販売



▲「日本に来て驚いたこと」
国際交流員によるトーク



▲いらっしやいませ!



▲民族衣装ファッションショー



▲よさこい国際交流隊演舞

2019
Spring
No.70

- 当協会の実施事業の紹介
 - 韓国全羅南道へ高校生派遣
 - 国際ふれあい広場2018
 - 土佐市で日本語ボランティア教室が始動!
 - 異文化理解講座 & 異文化出前講座
- 国際交流団体の紹介
 - 高知のインドネシアコミュニティ
 - 高知おせっかい協会の取り組み
- 旅する鳴子〜カナダからの手紙〜
- INFORMATION BOARD

ガーナよさこい(支援会の表彰式)
GENKI青年会土佐弁ミュージカル2019
KIA学生ボランティア活動報告



KIA利用時間/
月~土(祝祭日を除く) 8:30~17:15
(3連休の土曜日、8月の土曜日、年末年始は休み)

一生の思い出になる交流に

平成30年度 韓国全羅南道青少年交流プログラム
 主催：(公財)高知県国際交流協会、高知県教育委員会高等学校課全国総合文化祭推進室

当協会主催のこのプログラムは高知県と韓国全羅南道の青少年交流を目的として平成28年度から高知県と全羅南道の高校生が交互に訪問しています。今年の夏は高知から全羅南道を訪問しました。

現地で高校を訪問した際、生徒たちは言語の壁を乗り越え、様々な方法を駆使しながらコミュニケーションをとりたい気持ちがあふれており、交流の時間がもっと欲しかったという意見が多く出るほどでした。温かい人々と、美しい自然・食の宝庫と言われる全羅南道ですが、その魅力をたっぷりと感じられる研修になったようです。

高校生たちは今回経験したことを生かし、2020年の「全国高等学校総合文化祭高知大会」に向け、2019年のプレイベントに関わる委員として、外国からのゲストに精一杯のおもてなしをする準備をしていく予定です。



歓迎会にて



茶道

日	スケジュール
7/30	高知空港～羽田空港～金浦国際空港着 高速鉄道(KTX)で木浦市到着
7/31	羅州高校にて交流活動 (日本語の授業参加・韓国の給食体験) 全南芸術高校にて交流活動・木浦中央高校訪問 羅州高校生と合同宿泊
8/1	全羅南道農業博物館(韓服・茶道体験) 木浦共生園見学・園児との交流活動 木浦噴水ショーの見学
8/2	康津青磁祭り・長興 水祭り
8/3	麗水情報科学高校にて交流活動 全羅南道国際教育院訪問 国立歴史博物館・麗水シティアター
8/4	麗水市→ソウルへ移動・明洞通の散策
8/5	金浦国際空港～羽田空港～高知空港 解散式



羅州高校にて

派遣生徒6名の報告 (一部抜粋)

やの あゆ 矢野 天雪 (高知商業高校1年生)



現地で、幼稚園生から高校生と触れ合えるというこの貴重な経験ができたことは私の人生の宝物となった。羅州高校の生徒からプレゼントでメッセージを頂いたとき、韓国語だけではなく日本語や英語を使って書いてくれていた。韓国のみんながより多く私たちとコミュニケーションを取ろうとしてくれるよううれしかった。困っていたら翻訳機を使ったり日本語を使ったりしてくれた。もし高知県に韓国のみんなが来て関われる時があれば、私もそのようにして安心感を与えたい。毎日、日本とは違う点を発見することができ、それを受け入れることが異文化理解ということなんだと感じた。私は将来、言語系か国際関係の仕事に就きたいと思っている。この訪問を経験する前よりはるかにこういった仕事に興味が増え、仕事に就いての視野が広がった。

たに 谷 ひとみ (山田高校1年生)



私は参加中に「異文化交流を通して視野を広げること」と「海外の人たちと話を友人として友人を作ることを目標に研修に臨みました。はじめ、緊張しながら韓国の生徒に話しかけたこと、楽しかったことを今でも覚えていますし、合同合宿の際に夜中までみんなで集まってゲームをしていたことも記憶が出来ます。私がこの研修で得たのは、友達や家族などの見えるものと言葉が通じなくても文化が違っていても温かい人がいて、自分たちが頑張った分、相手も応えてくれる事やそれぞれの性格は違っていても考えることはほとんど同じで大差がないから、身構える必要はないということです。温かい人・優しい人はどこにいてもと学びました。もっとたくさんの国の方とつながる交流をしたいです。



ソウルでショッピング♪

なかや りこ 中屋 李香 (中村高校1年生)



私が一番印象に残っているのは韓国の高校との交流だ。いざ交流をしてみるとお互いが身振り手振りで意思を伝えたりすることができ、うまく通じなかったとしても一生懸命伝えようとする姿が大変なんだと思った。伝わらなくても伝えようとする気持ちがあるだけで海を越えて友人を作り今後も交流を続けていけるのではないかなと思う。実際に私も韓国でできた友人とは翻訳機や英語を使って会話している。この1週間の韓国での経験をふまえて、自分たちがおもてなしをする側になったときは伝統的な文化に直接触れもらえること、さらに現在の私たちの生活体験(日本の高校生の1日体験など)などにかき高知でしかできないことを直接見て触れて自分の中に吸収してそこから見てもらいたいと思う。

かとう あかり 加藤 燈 (山田高校2年生)



活動の中で一番に残っていて楽しかったことは、麗水情報科学高校へ交流をしに行ったことです。その高校は大学のような作りになっていてたくさんの学科がありました。同じ二年生の子たちと韓国のお菓子を食べながらアニメの話をしたり絵をかいたりして交流をしてみても驚いたのは日本語が話せたり理解できる子がたくさんいたことです。その子たちの多くがアニメで勉強したと言っていました。短い時間でしたが打ち解けて仲良くなれてよかったです。今回のプログラムでの温かさに感動しました。言葉をもっと勉強しておけばよかったとも思いますが、たくさんの方と親しくなれてうれしいです。とても良い経験に自分に自信ができました。この経験を生かしたくさん挑戦していきたいです。

ふるや ゆい 古屋 結唯 (高知学芸高校2年生)



私が最も印象的だったのは韓国の生徒との交流で、羅州学校でのグループ活動の時には、お互いに写真や動画を見せ合うことでたくさんコミュニケーションをとれました。私の話を目を見ながらなんとか理解しようと真剣になってくれたので、私も自然とみんなのことを知りたいと積極的に質問をしたり私たちの共通点を見つけたりしていました。好きな芸能人が同じであったなど、たった一つ共通点があるだけで、すぐ距離が近くなった気がしました。木浦共生園では、田内さんのお孫さんである園長先生が来館者に名前の記帳をお願いしているのを見て、千鶴さんの思いをそのまま受け継いでおられるのだなと実感しました。同時に私は日本の過去の行為、田内さんを含むそれらに立ち向かうとした人々の思いをもっと知らなければならぬと思いました。

もりさわ なな 森澤 奈々 (高知西高校2年生)



田内千鶴さんのお孫さんが園長をされている共生園の子どもたちはみんな楽しそうで、今世界で色々な事情で家や両親がいない現実の中で、本当に素敵な施設があること、まだまだ支援が必要なことに関しても気づきがありました。田内さんが孤児をわが子のように可愛がって育てたこと、苦しい状況の中でも自分より子供たちの状況を優先したこと、私には今はそのような行動力はありません。少しでも田内さんのように素敵な人になれるよう、最初は周りの人たちをよく見ることを心掛けていこうと思います。私は歯科衛生士になることが夢ですが、たくさんの方の外国の方が日本にいると思うので、安心して身を任せてもらえるような人にもなりたいし国際的な歯科衛生士を目指したい!とこのプログラムを通して感じました。



共生園の子どもたちとアクティビティ



羅州高校の給食



給食をいただきまーす!



麗水科学技術高校にて



韓服体験

当協会実施事業報告

「高知で多文化を見る、知る、体験する!」 国際ふれあい広場2018開催

13回目となったこのイベント。今年は県内の団体を中心に、初めての参加団体8団体を含む20団体が高知市のひろめ市場よさこい広場、大橋通北側に集いました。

出展ブースではフェアトレード雑貨やコーヒー、民芸品、食品の販売や、国際協力の出張相談ブース出展、姉妹都市のパネル展示、南米の日系の子どもたちが書いた絵の展示、民族衣装試着体験などを行いました。

ミニステージでは、海外の舞踊(中国、ブラジル、インドネシア、ハワイ)や、よさこい国際交流隊によるよさこい演舞と正調鳴子踊りのワークショップ、国際交流員や青年海外協力隊経験者によるトーク、外国語絵本の読み聞かせなどがあり、個性豊かにイベントを彩りました。トリを務めたのは、世界の民族衣装ファッションショー! 会場が一体となり、盛り上がりました。

インフォメーションコーナーでは伊野商業高校の生徒4名が来場者の案内のお手伝いをしていただきました。その甲斐もあって、今年は中学生・高校生や、外国出身の方の来場が多かったのが印象的です。全体を通して、国際交流・国際協力のエネルギーを感じるものとなりました。来年度はさらに多くの方に多文化を体験したり楽しんでいただけるようパワーアップしたいと思います。



高校生による発表「ハワイの高知城」



中国舞踊



フラ



大橋通の展示



伊野商業高生がインフォメーションをお手伝い



KIAブースにて



民族衣装ファッションショー



ご来場ありがとうございました!

○参加団体

- 高知県青年海外協力隊OB会
- オイスカ高知県推進協議会
- 高知SGG善意通訳クラブ
- 高知県フラ協会
- 日中友好中国帰国者の会
- 高知県国際交流課
- オーテピア高知図書館
- 高知大学学生団体 国際茶屋
- えひめグローバルネットワーク
- 高知大学国際協力団体 すきっぷ
- 伝統を「着る」実行委員会
- 高知大学医学部アジア僻地医療を支援する会
- デルタ・カップ・ガンマ・ソサエティ・
- インターナショナル(DKG)高知支部
- 奥村多喜衛協会
- 高知家の国際交流員
- I.Y.S.高知xSLOWS
- 一四国国際理解教育研究会

○特別出演

- よさこい国際交流隊
- 在高知インドネシア人会
- CAPOEIRA ACHÉ PERNAMBUCO高知

○協力高校

- 高知県立伊野商業高校

ーステージスケジュールー

10:10~10:40	ブラダンス「フラで楽しく」(高知南フラ協会)
10:40~10:55	ようこそ!外国語でよむ絵本のせかいへ 中国語で読む「道通 チュンチエ 中国のお正月」(オーテピア高知図書館)
10:55~11:15	中国民族舞踊「ヤンガ」広場ダンス (日中友好中国帰国者の会)
11:15~11:55	いつか世界を変える力になる。青年海外協力隊って? ~中高生との対話~ (高知県青年海外協力隊 OB会)
11:55~12:15	よさこい国際交流隊よさこいワークショップ ★特別出演 (よさこい国際交流隊)
12:15~12:30	ようこそ!外国語でよむ絵本のせかいへ 韓国語で読む「絵巻物 養蜂山(養蜂士をたずねて)」(オーテピア高知図書館)
12:30~13:00	平和教育出前授業「美しい目の人形大使」 (DKG日本支部)
13:00~14:00	「日本に来てこんなこと聞いた!」トークショー (高知家の国際交流員)
14:00~14:15	ブラジルの格闘技(カポエイラ) ★特別出演 (CAPOEIRA ACHÉ PERNAMBUCO 高知)
14:15~14:30	ようこそ!外国語でよむ絵本のせかいへ 英語でよむ「Swimmy(スイミー)」(オーテピア高知図書館)
14:30~15:00	ブラダンス「フラで楽しく」(高知南フラ協会)
15:00~15:10	インドネシア ハリの伝統舞踊 ★特別出演 (在高知インドネシア人会)
15:10~15:30	ハワイの高知城 (奥村多喜衛協会)
15:30~16:00	伝統を「着る」ファッションショー (伝統を「着る」実行委員会)

土佐市で日本語ボランティア教室が始まります!

※2019年1月末の情報となります

高知県はここ数年で多くの市町村で在住外国人が増えています。日本語を勉強する教室が高知市と南国市以外にはほとんどありません。日本語ボランティア教室は、在住外国人と地域住民の交流の場になり、言葉がわからないことに起因する在住外国人の孤立を防ぐためにも大切な役割を持つと考えています。

そこで、当協会では今年度から、県内の日本語教室がなく、外国人住民数が県内で3番目に多い土佐市において、日本語ボランティアの養成講座や交流会を行い、教室立ち上げに向けての側面的なサポートを行っています。その結果、養成講座に参加した方が中心になって「高知日本語サロン土佐支部」を結成し、日本語ボランティア教室の開設に向けて活動を始めることになりました。今後の動きに注目です!

日本語ボランティア養成講座 土佐市

高知日本語サロンから講師をお迎えし、グループワークを含めた講義を行いました。外国語としての日本語文法では、日本語の「ます型、て型」などの文型や「な形容詞」、「い形容詞」など聞きなれないワードに受講者は驚いていましたが、熱心にメモをとっていました。ボランティア教室では学習者とボランティアは生徒と先生のような「教える」「教えられる」という関係ではなく、ボランティアのほうも学習者から学びながら双方が交流を楽しむことが大切だそうです。この養成講座は入門の内容なので、今後も日本語ボランティアの方自身が実践の場で経験を積みながら学んでいくことが必要になります。うれしいことに約半数の方に土佐市での日本語教室活動への参加に興味を持っていただきました。

	内容	講師
第1回	県内で生活する外国人住民の状況 ボランティア日本語講師としての心構え 外国語としての日本語(概要・文法)	池 純子
第2回	日本語の教え方①	尾中 美代子
第3回	日本語の教え方②	尾中 美代子



料理交流会

ボランティア同士の交流の機会にするためベトナムの米粉麺をつかった料理「フォー」と中国の餃子を作る交流会を行いました。講師となったのは、中国出身の高峰さんとベトナム出身のグエン ラン フォンさん。二人とも料理は大得意です!フォーの出汁をとる際に、皮つきのまま豪快に玉ねぎや生姜を乾煎りするのは驚き!鶏肉も塊のままお湯に投入します。餃子は皮から作り、厚い皮でタネを



フォーをつくる工程を説明中!

包みます。中国では餃子といえば水餃子のことを指すようで、これにもびっくり!普段は日本語を習う側の外国人が料理講師となって活躍しました。土佐市での日本語教室に興味のある外国人住民も何名か参加し、わいわいとにぎやかでした。



餃子の皮を作っています



料理交流会の後

教室の立ち上げの検討会

養成講座の後も、教室立ち上げの検討会として「高知日本語サロン」の協力のもと土佐市で集まり、話し合いを行いました。

- 12/15(土) 教室の場所、日時、頻度の決定、担当グループの検討会① 決定etc
- 1/26(土) 係の決定、連絡体制、広報チラシのチェック、教材の使い方確認etc

早速、2月下旬から日本語ボランティア教室を試験的に始め2019年4月から本格始動する予定です。ボランティアの方自身も楽しみながら、地域に根付いた教室として長く続いていくよう、当協会もサポートを続けていきます。

*当協会のフェイスブックにて随時情報を流す予定です。



検討会にて。



異文化理解講座

in 四万十市&防災パネル展示(11/3)

高知市国際交流員の柳鶴 太朗氏(アメリカ、サンフランシスコ州出身)と高知県協力交流研修員のアティン パオ レーンリン ゴリンギャブ氏(フィリピン、ベンゲット州出身)の2人を講師に迎え、それぞれの国や文化の紹介をしてもらいました。国際協力や国際交流に関心のある方々、19名の参加者がありました。「アメリカを知る〜移民の歴史から〜」では、アメリカが移民を受け入れてきた多様性を持つ国であることを、「フィリピンの子育て事情」では、世界の中心に親戚を含めた大きな家族があり子育てもその家族で助け合い、どんなに貧しくても皆が笑顔であることこそが大事で幸福度世界第2位である理由を聞くことができました。



in 佐川町(1/23) & JICA移民パネル展示 & KIA防災パネル展示

開催場所:桜座

2018年はブラジル日本移民110周年の年であり、ロビーにてJICA移民パネルを展示し、あわせて当協会のKIA防災パネル展示も行いました。会場では、当協会スタッフの光井が移民の歴史について説明後、高知県海外技術研修員の渡辺梅山ロベルト晃氏(パラグアイ出身日系3世)の国紹介や日系社会を詳しく説明してもらいました。授業の一環で参加した佐川中学校の一年生を含む89名の来場がありました。パラグアイの日系人が日本の言葉や生活等を大切にし、1世から2世、2世から3世へと日本文化が受け継がれていることを知ることができました。



異文化出前講座

in 斗賀野小学校(10/25)

渡辺梅山ロベルト晃氏(左写真、パラグアイ出身日系3世)と、山田ヴァネッサみどり氏(右写真ブラジル出身日系3世)が、それぞれの国と文化、南米移民の歴史や現在の暮らしを紹介しました。「日系人?移民って何?」という問いかけに、日本にルーツを持つ子孫を日系人と呼び、戦前戦後に多くの高知県民が南米へ船で渡ったという話を子供たちは興味深く聞いていました。少し難しい話もありましたが、移民の歴史を子供たちに知ってもらう良い機会になりました。



in 野市東小学校(11/17)

高知大学留学生のライ・イーチュン氏(右写真、台湾出身)とオユン・スブドエルデネ氏(左写真、モンゴル出身)の二人の講師が、小学一年生対象の人権学習参観日でそれぞれの国紹介やSimon Saysの命令ゲーム等で交流を楽しみました。



in 高知南高校(12/19)

今年も高知県海外技術研修員3人が講師として参加。他に、留学生等を合わせて14人が10のブースに分かれ、各国の紹介を15分間ずつ行いました。生徒がその国々の紹介に熱心に耳を傾け、講師らに質問したり会話を楽しむ姿が印象的でした。講師らは、高校生の若さに圧倒されつつも良い刺激を受けた、という感想がある中で、「自分に自信を持てるものを持てるよう頑張ってください!」とエールを送っていました。



高知南高校国際科のみなさんと一緒に!!

in 吾桑小学校(2/13)

高知県国際交流員ファイ イン ヴァレリー テオ氏(シンガポール出身)、須崎市国際交流員ヴィダル・ジェニファー氏(フランス出身)、高知県海外技術研修員 山田ヴァネッサみどり氏(ブラジル出身)、渡辺梅山ロベルト晃氏(パラグアイ出身)、小椋フリオルベルト氏(アルゼンチン出身)の五人の講師が、4年生~6年生に国や文化紹介をしました。各国の小学校の様子、自然豊かな写真や映像を見て、世界旅行に行った気分になれた、異文化を感じた、世界にはこんな国があるのかという発見があった、という感想がありました。出前講座後は、1年生~3年生を含めた給食交流会に参加しました。元気な子供たちに圧倒されながらも和気あいあいとした雰囲気の中で楽しい時間を過ごすことができました。



児童より開会のあいさつ

在高知インドネシア人会 Kochi Happy Family

高知市国際交流員 マリサ



在高知インドネシア人会はじまりのきっかけ

来高した時当初、憧れの日本にやっと住むことができ、毎日が夢のようでわくわくし興奮した日々を過ごしていた。でもそれは長く続かず数ヶ月後、私は寂しさを感じた。家族に会いたい、インドネシア語をしゃべりたい、インドネシアの料理を食べたい、とにかく母国に帰りたいとたまらなかった。そこで、インドネシア人会に出会った。最初は日本人と結婚し、高知に住んでいるインドネシア人とインドネシアの料理を作り、ランチをする活動だけだったが、最近は留学生や実習生などと繋がるようになり、在高知インドネシア人会(Kochi Happy Family)が誕生した。毎年いくつかのイベントで集まり、今年の9月16日にインドネシアの文化紹介イベントも計画した。イベント名はEnjoy Indonesia、そこでインドネシアの料理や踊り、歌、伝統衣装などを紹介した。

ハラールについて

インドネシア人の87%がイスラム教徒で、豚関連のものとアルコールは口にできない宗教である。また、イスラム教徒はイスラム式で処理された肉(ハラールという)しか食べられない。私にとって、ハラール商品が少ないのは日本の短所であると感じる。でも、最近高知のいくつかのスーパーやインターネットでハラール肉が入手でき、ハラール料理(予約必要)を提供する店もある。少しずつ高知も住みやすくなってきた!!

在高知インドネシア人会 代表者イスブラユキ(ユギさん)
問い合わせ先:高知市役所(マリサ)まで kochihappyfamily@gmail.com

▼ラマダン明け

▲よさこい



▼独立記念日



Enjoy Indonesiaの様子

高知から送った鳴子が世界に!

報告

旅する鳴子 ~カナダからの手紙~

よさこいアンバサダー・絆国際チーム代表 田中 恵美子



はじめまして。カナダで日本語教師をしております田中恵美子と申します。世界中の誰もが楽しめるよさこいに魅了され、これまでにカナダとポーランドでよさこいチームを立ち上げました。その功績を認められ2016年に高知県より「よさこいアンバサダー」に認定されてから、さらに精力的によさこいを世界に広める活動をしています。2018年にはハンガリーでよさこいチーム設立の機会があり、高知県から寄贈された鳴子を使わせていただきました。

現在「ハンガリーよさこい連純恋」は地元の学生を中心に活動しており、私が代表の「桜舞ポーランド」と共演をしたり、よさこいを通じた国際交流が行われています。そして本場のよさこい祭りを海外の踊り子に経験してもらうため、2018年に「桜舞ポーランド国際チーム」を設立し世界12ヶ国63名の踊り子とよさこい祭りに参加いたしました。その挑戦は大成功に終わり、よさこいのグローバル化へ大きな一歩を踏み出せました。そして2019年、さらに多くの国の踊り子を迎え「絆国際チーム」として新たに活動を始めました。

“よさこいの聖地、高知で踊りたい!”そんな想いで地球の反対側から高知まで踊りにやって来る。よさこいは限りない可能性と魅力に溢れた素晴らしい文化です。これからもその魅力を伝えて行けるよう尽力いたします。「絆国際チーム」は踊り子募集中です。国際交流にご興味がある方、ぜひご参加下さい!

(お問い合わせはkizunainternationalteam@gmail.comまで)



ワルシャワ市で開催された日本祭りにてハンガリーとポーランドチームが共演しました



ブダペスト市にあるエルテ大学でのよさこいワークショップにて



世界12ヶ国63名の踊り子が参加した桜舞ポーランド国際チーム

高知おせっかい協会とは?

その取り組みを知る。

あなたは“オセツカイスト”?!

高知おせっかい協会
問い合わせ先:
contact@k-osekkai.com
http://www.k-osekkai.com/

高知おせっかい協会は、自らを「おせっかい」だと思っている人を「オセツカイスト」と呼ばせていただいています。高知にはこの“オセツカイスト”気質の方がなんと多い事!頼まれてもないのに勝手にあれやこれやと世話を焼いてしまう“オセツカイスト”の皆さんとなら、高知に来られる外国の方とも国際交流が出来て楽しそう!と思った事も立ち上げたきっかけの一つ。

私たちの活動は、外国からの大型客船来航に合わせて活動している道案内などのボランティアから始まり、最近では“高知=日本”ならではの体験をして欲しいという気持ちで「Japanese Experience FES!」というイベントを開催しています。内容は、“Angelica(アンジェリカ)お料理教室”さんによるおむすび体験、“かみこや”さんによる和紙すき体験、“泉利昆布海産”さんによる利き出汁体験、“高知大学茶道部”の皆さんによるお茶席(抹茶)体験など、日本の文化や味を体験いただけるイベント。

活動のモットーは、まずは自分たちが楽しめること。今後はこうした機会をもっと作り、県外の方、外国の方、子供たちも含めて楽しく交流できる場をゆっくりですが広がっていきたくと思っています。



おむすび体験
Japanese Experience FES おむすび体験byアンジェリカお料理教室



お茶席(抹茶)体験
Japanese Experience FES お茶席(抹茶)体験by高知大学茶道部



利き出汁体験
Japanese Experience FES 利き出汁体験by泉利昆布海産

INFORMATION BOARD

ガーナよさこい支援会が高知県文化環境功労者として表彰されました

ガーナよさこい支援会(会長 古谷俊夫)は、平成14年の発足以来、毎年ガーナ首都アクラで開催される「ガーナでよさこい祭り」への鳴子や法被の寄贈や応援ツアーの実施、東京の原宿表参道元氣祭スーパーよさこいへのガーナチーム出場支援を行ってきました。

また、両国の高校生の研修旅行の支援も行い、それぞれの国の文化体験等を行うことにより交流を深めるなど国際交流の推進に寄与していることが評価され、今回、高知県文化環境功労者に選ばれました。

平成30年11月27日(火)、高知県庁にて表彰式が行われ、門田高知県文化スポーツ部長からガーナよさこい支援会の古谷会長に賞状が手渡されました。



表彰式にて、右から門田高知県文化スポーツ部長、古谷会長、中田代表幹事

GENKI青年会 土佐弁ミュージカル2019「土佐の国のアリス」

今年も地域外国人ボランティア団体GENKI青年会が土佐弁ミュージカルを開催します！今年のテーマは「不思議の国のアリス」です。土佐の文化を盛り込んだ「不思議の国のアリス」のミュージカルを是非見にいらしてください！

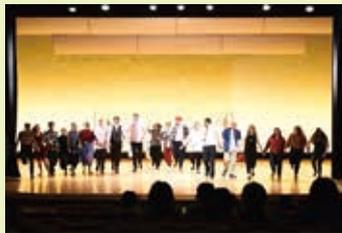
(ストーリー)大学進学のため上京した高知出身のアリスだが、都会に圧倒され、高知出身だということを恥ずかしいと思うようになる。そんな悩みを抱えたアリスがある日、どこか高知に似た「不思議の国」に迷い込んでしまう。アリスは、そこで何に遭遇して、何を学ぶのか?! お楽しみに!

土佐弁ミュージカルは地域の国際交流を草の根レベルで促進することを目標としています。ミュージカルの入場は無料ですが、海外留学を希望する県内の学生に助成金を募る募金活動を行っています。興味がある方はぜひ足をお運びください!

公演日時・会場

4月13日(土)	津野町	酒蔵ホール	13:00~
	四万十市	四万十市立文化センター	18:00~
4月14日(日)	四万十町	窪川四万十会館	13:00~
	高知市	春野ピアステージ	18:30~
4月20日(土)	安芸市	安芸市民会館	13:00~
	田野町	田野町ふれあいセンター	18:00~
4月21日(日)	本山町	本山町プラチナセンター	13:00~
	高知市	高新文化ホール	18:30~

※開演時間は変更される場合があります。



◀2017「土佐デレラ」



お問合せ: GENKI青年会代表 ヤナギツル・タロウ・ジョー
TEL: 088-823-9955 (高知市総務課内)
Website: www.tosabenmusical.blogspot.jp

KIA学生ボランティア活動報告

当協会のイベント(7月~10月)に参加した高知県立大学や高知大学のKIA国際交流学生ボランティアの皆さんの活動を報告!

7月/活動開始 ★当協会会議室にて、ボランティアの初顔合わせ!今年度開催するイベントを紹介し、どのイベントにお手伝いに行けるかを決めました。★親子で学ぶ国際理解講座のリハーサル@ソーレでは、5人の講師とともに料理を試作しながら各国(イギリス、ベトナム、アルゼンチン、パラグアイ、ブラジル)のレシピを仕上げました。

8月/「親子で学ぶ国際理解講座ベトナム編&南米編」では、グループに分かれた参加者のリーダー役を担い、講師のアシスタントとして活躍しました。

10月/「国際ふれあい広場」では、民族衣装試着体験のブースを担当し民族衣装について説明をした

り、国際交流や国際協力に関心のある人々との交流を楽しみました。

今後は、学生ボランティア自らが当協会の行うイベントの中で、企画実施することができるようサポートしていきます。

国際交流/協力に関心のある学生さんのたくさんのアイディアをお待ちしています!!!



ふれあい広場で活動中のKIAボランティア3人

